



産業界をリードする創造的アグリテックエンジニアの育成

～深化した探究学習により地域から未来人材を発信～

人材発掘

人材育成

人材供給

- 現状
- 地域の農業・工業を担う人材が少ない
 - 地域や行政と連携・協働した人材育成が希薄
 - 小中学生が本校の魅力を知る機会が少ない

- 現状
- キャリア教育が限定的
 - スマート農業が教育課程にない
 - 施設設備の充実にに向けた予算が不足

- 現状
- 産業界と学校をつなぐパイプ役が不在である
 - 学びの刺激となるグローバルな視点の不足
 - 開発物への産業財産教育の不足



学校・町・産業界・県の課題

- ▲人口減少による地域産業の担い手不足・人手不足
- ▲農業高校への入学者の減少
- ▲魅力ある地域づくりのアイデアに欠ける
- ▲持続可能な循環型社会への若者の参画の機会が少ない
- ▲産業界の技術者を志す生徒・児童の減少
- ▲獣害による農地への被害

加美農コンソーシアム



実践計画及び事業概要

- ①事業運営委員会・コンソーシアムの構築
- ②「総合実習」の展開
 - ・産業界からの講習会
 - ・自動車製作
 - SXを踏まえたIT、IoT技術活用
- ③連携授業や共同研究の実践
 - ・獣害対策アイデアを圏域外にも発信
 - ・開発物等における知的財産教育の実施
- ④圏域小中学校での出前授業や協働学習
 - ・小学校における命を育む出前授業の実践
 - ・中学校「総合的な学習の時間」と加美農の「課題研究」において協働学習を実践
 - 農業×工業の魅力に触れる
- ⑤学校設定科目「スマート農業」移行
 - ・産業実務家教員による授業
 - ・校内にモデル圃場を設置
- ⑥デュアルシステムの実践
- ⑦先進企業等の視察・研修の実施
- ⑧成果発表会
- ⑨求められる技術・人材の情報共有
 - 変化を感知し変化に対応する人材育成



- 目指す人材
- 工業 工業技術を活用し、地域環境を守り育て農業の魅力を伝える人材育成
 - 農業×工業 スマート農業の技術を持ち、農業の自動化・少人化・省力化を達成するものづくりに携わる人材育成
 - 地域と、大崎耕土をはじめとする地域の自然に愛着を持ち、持続可能な地域づくりの視点を持った創造的アグリテックエンジニアの育成



産業界をリードする創造的アグリテックエンジニアの育成



～深化した探究学習により地域から未来人材を発信～

加美農コンソーシアム 実施体制等の構成

宮城県教育委員会

- 事務局的機能
- 指定校への支援・助言
- 志教育充実のための施策
- 教育課程の検討

要望・要請

指導助言
取組の検証

色麻町

- 指定校への支援・助言
- 課題研究への助言・交付金支給
- 小中学校の志教育充実のための施策

小中学校への出前授業等の調整

加美農業高校（農業機械科）

- 学科改編によるカリキュラムの充実
- スマート農業の実践に向けた施設・設備の更新
- 「加美農版デュアルシステム」の構築
- 産学連携CDとの連絡調整による組織的かつ持続的な仕組みを構築
- 成果発信

産学連携コーディネーター配置

事業運営委員会

- 当該事業の具体的施策の検討
- 専門的事項の研究 等

指導助言
取組の検証

要望・要請

指導助言等
取組の検証

産業界

- 産業実務家教員の派遣
- 「加美農版デュアルシステム」受入体制の構築
- 産学連携CDとの連絡調整

大学・研究機関 等

- 特別授業講師の派遣
- 専門的見地からの助言
- 共同研究
- 韓国 京畿自動車科学高校との交流事業



荒川堰開水路



花川取水

目的

創造的人材発掘

- ・学びと実社会のつながりを学び、職業への関心を高める
- ・農業現場で化学がどのように応用されているか理解
- ・産業界への理解を深め専門的案学びへの興味関心

人材育成・協働

- ・専門知識を活かし忍耐強く課題に向き合う調整能力
- ・新しいアイデアへの発想力・創造的な思考力
- ・未来の食料生産について考察できる探究力
- ・自己の将来像を考える力

地域への未来人材供給・発信

- ・自治体や様々な人の中で育むコミュニケーションスキル
- ・地域社会の一員としての意識を持ち地域に貢献するリーダーシップ



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナリシップで目標を達成しよう